

土地区画整理事業の効率的運営管理のための「コストマネジメント支援システム」の概要と他事業への活用展開

玉野総合コンサルタント株式会社 都市整備部 工務課 梶田 拓也 他

○キーワード

土地区画整理事業、既成市街地、施工計画、事業工程、資金計画

○概要

近年、土地区画整理事業の対象地域は、住宅密集地などの既成市街地へと移行している。今後の土地区画整理事業は、建物移転が多い地区での施工となり、移転および公共施設工事の工程順序が錯綜するとともに、必然的に事業期間の延伸とそれに伴う事業費の増大が課題となる。一方、情報公開、説明責任の重要性が求められるなか、土地区画整理事業で行われる工事、移転の施工順序、移転工法・時期の決定方法について、今まで以上に、権利者に対して客観的根拠を明示する責任が出てきた。これらの課題を解決するために施工計画を立案して作成するが、従来の方法では図面と工程表、事業費などの成果が別々に作成・更新されていることが一般的であった。そこで作業の簡略化と事業運営管理の利便性向上のために、弊社では施工計画の成果である図面と工程表、事業費をデータベースで一元管理するコストマネジメント支援システムを開発した。

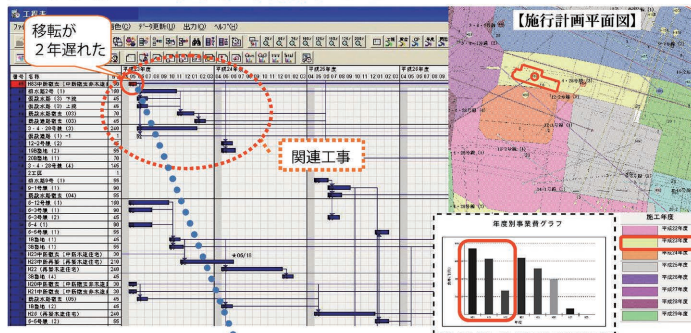
○技術ポイント

コストマネジメント支援システムの導入効果

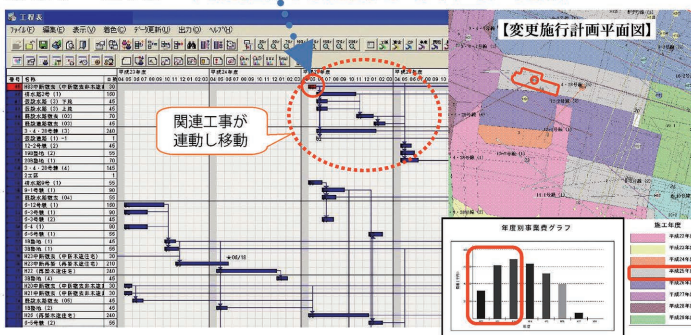
- ① 様々なシミュレーションによる最適計画の検討
- ② 一元化されたデータによる効率的な事業管理
- ③ 円滑な事業推進に必要な情報把握

○図・表・写真等

【工程表】⇒ 工程表を更新すると・・・



【変更工程表】⇒ 関連図表も連動して瞬時に更新！



シミュレーションイメージ

